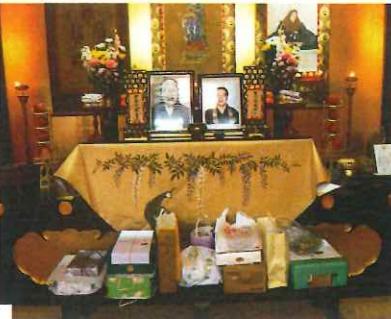
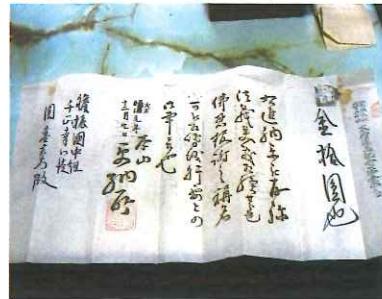


住職の写真日記より 【11月】

今年の大イベントの一つ、本山団体参拝旅行、無事終了しました。しかし、旅行の最後でボカを。飛行機に搭乗して席に座った時、出発ロビーのトイレに財布を忘れた事に気づき大騒ぎに。空港係員のおかげで無事発見。せっかくの旅行が台なしになるところでした。



1日 100年前です

親鸞聖人650回遠忌懇志の本山からのお礼状。金10圓なり。これは貴重です。



6日 報恩講、無事終了

婦人会の前会長 行武初末子さんもお参りに。みんな、とてもうれしそうでした。



7日 前住職方の法要でした
初めて報恩講に併せて法要をつとめました。この法要のために打敷を新調いたしました。



12日 90歳現役住職

前坊守の兄である京極町光寿寺住職。これが最後の報恩講だといつも言っています。



18日 本山伝灯奉告法要参拝旅行 3泊4日の日程で総勢

32名でお参りしました。当日は満堂で実にいい法要でした。ご門主ご家族そろってのお礼の言葉、中でも長男・敬様（幼稚園）のごあいさつがとてもかわいらしかったです。



19日 京都・嵐山にて

東京にいる長女菜々子も新幹線で合流。参加してよかったですと言ってくれました。

22日 4年ぶりの津波警報

NHKの文字表示もリアルでドキッとしたしました。あまり被害がなくてよかったです。

坊守の独り言

報恩講では皆様のご協力により、悪天候の中でも多くの方にお参りいただき、盛大にお勤めできましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

報恩講明けの16日から3泊4日で本山団体参拝旅行に、住職、前坊守が引率で出発しました。

なかなか、一人で留守番をすることがない私は超ウキウキ気分。この4日間、掃除も適当にゴロゴロ過ごそうと出発を心待ちにしていました。実際は一人だと忙しく電話、来客、家事とアッという間の留守番でした。

帰ってくることがわかるから、ノンキなことを考えるんでしょうね。帰る場所、待っている人がいる。当たり前のことに感謝できる教えが浄土真宗なんだな。
と一人で納得して過ごした4日間でした。



↑ 住職が居るのと居ないとでは、茶の間のテーブルがこんなにも違います。